



Willows

お米とフルーツ・ナッツのいろいろ(紅茶に合う いろいろ)

いろいろは、名古屋土産として発展しましたが、コロナ禍で出張・旅行が減り売上も激減。しかし、この状況でも若年層は動いていることに注目。ところが青柳総本家は創業明治12年、老舗のいろいろ屋として商品展開をしてきたので、若年層へアプローチするには商品が弱いと考えました。そこで和菓子にフルーツやナッツを加えた新しいスタイルのお菓子を開発。紅茶にとっても合ういろいろの誕生です。味はピスタチオ、マンゴー、ストロベリー、ミックスベリー、ココナッツレモン、栗とモンブランケーキ、烏龍茶と黒糖の7種類です。



Willovs

白いスリーブから優しく色が透けています。

パッケージは白いスリーブとフルーツの絵が書かれた中箱で構成されています。

スリーブの柄は漢字の「米」をモチーフに、半透明加工。カラフルな中箱が透けて見えます。

透けている様子は柔らかく優しい色合いです。白いスリーブは全て共通にすることでコスト調整しています。

米と味素材が重なり合い、いろいろになることを、米柄のスリーブとフルーツ柄の中箱で表現しました。



Willovs

Willovsは日本語で「柳」発音すると「ういろうず」。

中箱を開くとお菓子が入っています。このお菓子を包むフィルム包装にも漢字の「米」の柄を使用。

この米柄はエッジを少しぼかし柔らかい印象にしています。フィルム包装は全て共通にすることでコストダウンを図っています。

商品名のWillovsは社名「青柳」の「柳」が英語でWillow(ういろう)だからです。

和菓子の世界には無い、カラフルで可愛いパッケージは若年層はもちろん、高齢層にも好評で想定の2倍の売れ行きです。